

2019年度第1回公立大学法人公立諏訪東京理科大学理事会議事録

日 時 2019年4月24日(水) 10:30~11:20

場 所 6号館2階第1会議室

出席者 唐澤理事長、小越副理事長、松江理事、牛山理事、樋口理事、船木理事、河嶋監事、
(濱財務課長、加藤教務・学生支援課長、堀向総務課係長)

欠席者 宮坂理事、柴田監事

[配付資料]

- 1 アドミッションセンターの発足について(資料1)
- 2 公立諏訪東京理科大学2019年度監査方針(案)について(資料2)
- 3 公立大学法人の事業年度計画PDCAマネジメント・サイクルの変更について(資料3)
- 4 2019年度公立諏訪東京理科大学入学試験結果(資料4)

[議 事]

1 議題

(1) アドミッションセンターの設置について

加藤教務・学生支援課長から資料1をもとに、適切な入学試験の実施及び入試広報活動を行う組織としてアドミッションセンターを設置すること、アドミッションセンターは入試に関わる各委員会を束ねる組織となること等説明があり、審議の結果、設置について承認された。

これに関連して樋口理事から本センターは規程に定める組織となるのかとの質問があり、唐澤理事長から本学の業務規程に定める大学の組織とすること、本会議での承認を受け関連規程の改正を行うこと等説明があった。

(2) 2019年度監査方針(案)について

牛山理事から資料2をもとに、標記の件について昨年度を踏襲して外部資金監査と業務監査を重点事項とすること、今年度も監事監査を実施すること、これに加えて有限責任監査法人トーマツによる会計監査を実施すること等説明があり、審議の結果、方針について承認された。

(3) 年度計画のPDCAについて

唐澤理事長から資料3をもとに、年度計画については毎事業年度の開始前に設立団体の長に届け出ることとなっているが、2019年度の計画については学長及び事務部長の変更に伴う新体制で検討を行う必要があること、公立大学として初年度であり2018年度末の結果を踏まえて計画を作成する必要があることから、5月開催の理事会に諮り、事務組

合に届出するとの報告があった。

また、2018年度の期末評価については、最終的に6月開催の理事会に諮り事務組合へ届け出ることが報告された。

(4) 2019年度入試結果について

加藤教務・学生支援課長から資料4をもとに、入学辞退も含めた最終的な入学者が確定し311名が入学したこと、志願倍率は機械電気工学科より情報応用工学科の方が高かったこと、入学者の出身高校所在地別では長野県が最も多く、またエリア別では東海エリアからの入学者が多いこと等報告があった。